

恋愛漫画における物語構造分析とその応用

Structural Analysis of Love Story Comics and the Application

内山 清子*¹
Kiyoko Uchiyama

石川 諒*¹
Ryo Ishikawa

*¹ 湘南工科大学 工学部 コンピュータ応用学科
Department of Applied Computer Sciences, Shonan Institute of Technology

This paper proposes a structural analysis of love story comics. Several methods of structural analysis have been proposed for discovering stereotyped patterns in the story. Propp focused on the homogeneous nature of the actions assigned to characters by the narrative, and extracted 31 functions of the old fairy tales. Based on the 31 functions, we tried to extract common patterns in love story comics. We collected 6 kinds of comics which are popular and completed. Following four steps were proceeded: (1) writing the plot for each story in the text, (2) segmentation the outline in small unit and analysis of the structure in each unit (3) extracting the functions based on the important keywords in small unit, (4) analyzing the common patterns in target love story. Finally, we conclude the discussing the extracted 18 common patterns for love story.

1. はじめに

近年、特に若年層では SNS(ソーシャルネットワークサービス)の Twitter や Facebook などを通じたコミュニケーションが増えている。また、ソーシャルメディアを利用して実現したこととして、「同じ趣味・嗜好を持つ人と交流できた」が約 80%、「ソーシャルメディアで知り合った人と実際に会うことができた」あるいは「新たな絆が生まれた」がそれぞれ約 35%となっている[総務省 2015]。

しかし、ソーシャルメディアを契機とした新たなコミュニケーションが生まれている一方で、恋愛に対しては消極的で、「現在、婚約者または恋人がいる」人の割合は、2010 年には 24.6%と国際的にも低い割合となっている[厚生労働省 2015]。メディアの進化とは反比例して恋愛に対して消極的になっている理由として、男女共、出会いの場所がわからない(男性 38.8%,女性 47.1%)、恋愛交際の進め方がわからない(男性 32.3%,女性 29.2%)ことをあげている。

そこで、本研究では、出会いの場所や恋愛交際の進め方を知る良いきっかけとして、恋愛漫画を題材とした物語構造の分析を行うことにした。恋愛漫画における物語の展開、つまり恋愛や交際の様々なパターンを知ることにより、恋愛に対しての不安を払拭することができるのではないかと考える。本論文ではこれまで行われてきた物語構造分析の理論を参考にしながら、実際の恋愛漫画を対象として、典型的な物語構造を抽出することを試みる。

2. 物語構造分析

物語構造を分析する手法は、これまで多くの研究者によって行われている。主におとぎ話や昔話を対象としたものだが、漫画に適用可能であるため、ここで代表的なものを説明していく。

2.1 バルトの物語構造分析

ロラン・バルトは物語作品のうちに三つの記述レベル、機能(function)、行為(action)、物語行為(narration)を識別することを提案している[バルト 1966]。まず機能については物語の最小単位を定義する必要がある。物語内容のある種の線分を単位とするが、単位クラスとして行為の機能性(機能体)と存在の機能性(指標)の二つがある。物語の主要な機能を拘束する方向性として、登場人物が物語の中で迫られる選択の道筋をたどることや、

それぞれの機能の対立関係を見出すことなどがある。「行為」については登場人物が何を行うかを規準とし、主体と対象、送り手と受け手、補助者と反対者といった構造を見ていく。物語行為は物語の内部では送り手と受け手に基づいて文節される物語的コミュニケーションの中に機能と行為を組み込む操作によって支配されている。これたの要素が相互に影響し合いながら、物語が構成されている。

2.2 プロップの物語構成要素

プロップは魔法昔話(ロシア昔話)を対象として、出来事全体の展開過程にとって当の行為がもたらす意義という観点から規定された登場人物の行為を機能として分析している[プロップ 1987]。プロップは登場人物が果たす役割や機能のみに注目し 31 の機能にまとめた。この 31 の機能はその後の物語構造研究のベースとなる重要な役割を果たしている。本研究においても、プロップの機能を参考にしている。

2.3 コミック分析

既存の物語構造分析は、昔話やおとぎ話など実際に文章化されているものを分析対象としているが、漫画(コミック)『DEATH NOTE』と『デビルマン』を対象として「コミック作品の中に存在する物語性、神話性」について分析した研究がある[高田 2009, 2012]。物語の連鎖パターンを抽出する作業(シーケンス分析)つまり詳細な話素の抽出から物語の連鎖を分析する手順によって何回か繰り返される物語の中の典型ストーリーを抽出することができる。この分析によって、繰り返される代表的な枠組みを見つけ出し、機能へと変換している。これにより一つ一つの詳細な場面を切り出し、細部にわたって作品の特徴を明らかにしている。

3. 恋愛漫画における構造分析

恋愛漫画における物語構造分析の目的として、一つの作品ではなく、あるジャンルに共通した枠組み(典型ストーリー、パターン)を抽出することである。そこで今回は、あらすじの記述から「機能」を規定しながら、物語の流れをおおまかにまとめていくこととし、以下の 4 つの手順に従って分析を行った。(1)漫画のストーリーを文章化する、(2)ストーリーの構成要素を分析する、(3)区切ったストーリーを簡略化し、特徴や重要事項をキーワードにし「構成要素(以下機能とする)」に変換する、(4)対象漫画に共通する機能をまとめていく。

3.1 分析対象データ

本研究で対象とする漫画の選別をした。恋愛漫画は数多く出版されているため、以下の条件を満たすものの中から選んだ。(1)2016年12月に連載を終了している、(2)巻数が20巻以下である、(3)ファンタジーやSFの要素が入っていない、(4)アニメ・ドラマ・映画化など様々なメディア展開をしていて知名度がある、(5)ハッピーエンドである、という条件から表1に示す6作品を対象として分析を行った。『花より男子』は巻数が多いが、アニメ化、テレビドラマ化によりあらすじを掲載していたため文章化する手助けとなった。他の作品は、実際に漫画を読みながらあらすじをまとめる作業となったため、巻数制限を行った。

表1: 対象とした恋愛漫画作品

タイトル	作者	巻数	メディア展開
花より男子	神尾葉子	全37巻	アニメ、テレビドラマ、映画、ノベライズ、携帯ゲーム、舞台
アオハライド	咲坂伊緒	全13巻	アニメ、映画
ラストゲーム	天野忍	全11巻	ドラマCD
俺物語!!	河原和音	全13巻	アニメ、映画
青空エール	河原和音	全19巻	ラジオドラマ、映画
近キョリ恋愛	みきもと凜	全10巻	テレビドラマ、映画

3.2 ストーリーの文章化と「機能(構成要素)」の抽出

漫画のストーリーはWikipediaから取る予定であったが、作品によってあらすじの詳細さが異なるため、実際に漫画を読んでストーリーを文章化した。本研究では「登場人物の心理状態、変化」「登場人物の行動」「登場人物の心理変化や行動に影響を及ぼす出来事」の三点に焦点を当てて分析を行った。

恋愛漫画の場合、具体的な出来事よりも主人公やその相手の心理的な変化、葛藤などが中心であるため、既存の物語分析よりも状況の切り分けが難しい。今回対象とした恋愛漫画は学園もの(高校や大学)であったため、様々な学校行事が主人公の心理状況や関係性に影響を与えている。また恋敵の登場や、親の妨害、友人の援助などによる他者との絡みが多く、ある意味コミュニケーション分析の要素も含んでいた。プロップのロシア民話の構成要素を参考にしながら恋愛漫画に当てはめて以下の18要素に整理した。

1. 登場人物の心理状態・変化や行動に影響を及ぼす出来事
(1)出会い(出会い)(2) 敵対者・恋敵の出現(登場)(3)周りや恋敵からの策略、妨害、試練(策略)(4)修学旅行、合宿などの学校行事(イベント)(5)情報の錯綜(錯綜)(6) 事故、引越、留学などの出来事(アクシデント)
2. 登場人物の行動
(7)約束をする(約束)(8) 約束を破る(違反)(9)主人公や思い人自身が告白、あるいはそれらに対する告白(告白)(10)思い人・友人との喧嘩(喧嘩)(11) 思い人・友人と仲直り(回復)(12)付き合う(交際)
3. 登場人物の心理状態・変化
(13)思い人と主人公の思い違い(勘違い、誤解)(14)思い人に対する妬み(嫉妬)(15)友情や自信の欠如(欠如、喪失)(16)主人公自身や主人公に対する不安・心配・悔やみ(不安)(17)主人公の迷い・狼狽え(葛藤・困惑)(18)気持ちに気がつく、認める(認知)

プロップのロシア民話では31の構成要素が規定されているが、本研究では、できるだけ似たような事項は細分化せずにとまとめたため、約半分の18個になった。

3.3 恋愛漫画の物語展開

18の機能が恋愛漫画においてどのような展開をしていくのか。まず、1の「登場人物の心理状態・変化や行動に影響を及ぼす出来事」を通じて、2の「登場人物の行動」により、3の「登場人物の心理状態・変化」がどうなのか、あるいは2と3が逆になって物語が進行していく。

恋愛漫画の典型的ストーリーパターンとして、まず出会い(出会い)から始まり、他の女子や男子と仲良く話しているところを目撃し自信を失ったり(欠如・喪失)、好きな人がいるのではと勘違い(勘違い・誤解)をしたりしているうちに恋敵が登場し(登場)、様々な妨害策を受けながら(策略)、自分の気持ちに気づきはじめ(認知)、学校行事(イベント)を経て仲直りをした(回復)が、誤った情報により(錯綜)困惑する(葛藤・困惑)。そのうちに相手が留学でいなくなる(アクシデント)と知った時に自分の気持ちを告白し(告白)、晴れて交際すること(交際)になる。

実際の漫画はこれほど単純ではないが、提案した機能をだいたい含んでいると考えられる。これらの機能の具体的内容の多様性や、順番や流れを変化させることが個々の漫画の特徴になっている。分析の結果として、恋愛における典型的ストーリーパターンは実世界でも起こりうるものであるが、ストーリーよりも人とのコミュニケーションにおいて参考にするべき点が多いことがわかった。恋愛の場合、相手をよく観察するため、相手が何を欲しているのかに敏感になっており、相手に喜ばれる振る舞いをしようとする。様々な場面におけるこれらの努力は、恋愛に限らず人間関係を円滑に行うためには、ある程度知っておくべきことである。

今回の物語分析における「出来事」「行動」「心理状態」の3つは、コミュニケーションにおける「状況」「振る舞い」「感情」に対応するものであると考えられる。相手を思いやる気の利いた振る舞いをストーリーと並行してまとめると、状況に応じたコミュニケーションの事例集として役立たせることが期待できる。

4. おわりに

本研究では恋愛漫画を対象として、ストーリーを文書化し、そこから物語の機能を抽出した。今回は「登場人物の心理変化や行動に影響を及ぼす出来事」「登場人物の行動」「登場人物の心理状態・変化」という三点から分析を行った。今後は、対象の恋愛漫画を増やし、ハッピーエンド以外のストーリーを類型化し、様々なコミュニケーションに対するアノテーションの枠組みを検討していきたい。

参考文献

- [バルト 1970] ロラン・バルト、花輪光訳: 物語の構造分析、みすず書房、1970。
- [プロップ 1987] ウラジミール・プロップ、北岡誠司訳、福田美智代訳: 昔話の形態論、水声社、1987。
- [総務省 2015] 総務省: 平成23年版情報通信白書 第3章「共生型ネット社会」の実現がもたらす可能性、p161, 2012。
- [厚生労働省 2015] 厚生労働省: 平成25年版厚生労働白書 第2章多様化するライフコース pp. 75-76, 厚生労働省。
- [高田 2009] 高田明典: 物語構造分析による娯楽作品の訴求構造分析、情報処理学会研究報告、Vol.2009-EC-14(2), pp.1-4, 2009。
- [高田 2012] 高田明典: 物語構造分析の理論と技法—CM・アニメ・コミック分析を例として— 第17章コミックの構造分析、pp.273-298, 大学教育出版、2012。